

淡江大學 106 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	日文習作 (二)	授課教師	清水裕美子 SHIMIZU YUMIKO
	JAPANESE WRITING (II)		
開課系級	日文三 B	開課資料	必修 下學期 2學分
	TFJXB3B		
系 (所) 教 育 目 標			
本系之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：			
1. 日語聽、說、讀、寫、譯五項技能。			
2. 接軌國際之能力。			
3. 掌握資訊之能力。			
4. 迎向未來之能力。			
系 (所) 核 心 能 力			
A. 具備日語聽講的基礎能力。			
B. 具備日語口語表達、中日口譯的基礎能力。			
C. 具備閱讀日語書報雜誌的基礎能力。			
D. 具備日文作文、日文書信及中日筆譯的基礎能力。			
E. 訓練學生賞析日本文學、名著的基礎能力。			
F. 理解日本語學、日語教育之基礎理論及研究方法。			
G. 培育日本歷史、文化、社會的基礎素養。			
H. 訓練思考判斷的能力。			
課程簡介	これまで学習してきた単語、文法を応用して、起承転結のある筋が通った長い文章がかかるように訓練する。接続詞、時制、副詞、形容詞の使い方に注意すること。 また、台湾の漢字は日本の漢字ではないので注意が必要。単語はきちんと辞書で調べてから書くこと。		
	By applying the words and grammar we have learned so far, we train to apply long sentences through which a line of starting and breaking goes. Attention should be paid to the usage of conjunction, tense, adverb, adjective. Also note that Taiwanese kanji is not Japanese kanji, so be careful. Words should be written in proper dictionary.		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	作文の成績は文法部分と内容に大別されます。中国語の作文を翻訳するのではなく、日本語で考える訓練をしてください。)		A6	D
2	作文の成績は文法部分と内容に大別されます。中国語の作文を翻訳するのではなく、日本語で考える訓練をしてください。		A6	D

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	作文の成績は文法部分と内容に大別されます。中国語の作文を翻訳するのではなく、日本語で考える訓練をしてください。)	講述、賞析、實作、問題解決	紙筆測驗、實作、報告、上課表現
2	作文の成績は文法部分と内容に大別されます。中国語の作文を翻訳するのではなく、日本語で考える訓練をしてください。	講述、賞析、實作、問題解決	紙筆測驗、實作、報告、上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◆ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◇ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◆ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◇ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◇ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◇ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◇ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授 課 進 度 表

週次	日期起訖	內 容 (Subject/Topics)	備 註
1	107/02/26~ 107/03/04	第 5 課 文のつながり p 7 1 接統詞 接統詞の使用法 p 7 4－7 6	
2	107/03/05~ 107/03/11	第 6 課 小論文 文末表現 p 8 0－8 1	
3	107/03/12~ 107/03/18	第 6 課 小論文 助詞のような働きをする言葉 p 8 2－8 4	
4	107/03/19~ 107/03/25	第 6 課 小論文 助詞のような働きをする言葉 p 8 5－8 7	
5	107/03/26~ 107/04/01	作文練習 接統詞、書き言葉の復習 作文	
6	107/04/02~ 107/04/08	第 7 課 段落 段落と中心文 p 9 2－9 3	
7	107/04/09~ 107/04/15	第 7 課 段落 中心文と支持文 p 9 4－9 6	
8	107/04/16~ 107/04/22	第 7 課 段落 段落のつながり 9 8－1 0 1	
9	107/04/23~ 107/04/29	復習	
10	107/04/30~ 107/05/06	期中考試週	
11	107/05/07~ 107/05/13	試験返却と解説 第 8 課 要約文 文章の要約 p 1 0 4－1 0 5	
12	107/05/14~ 107/05/20	第 8 課 要約文 文章の要約 p 1 0 6－1 0 7	

13	107/05/21~ 107/05/27	作文練習 接續詞、書き言葉の復習 作文	
14	107/05/28~ 107/06/03	第 9 課 説明文 具体的な表現 p 1 1 8	
15	107/06/04~ 107/06/10	第 9 課 説明文 客観的な表現 p 1 2 0－1 2 1	
16	107/06/11~ 107/06/17	作文練習 説明文の復習 作文	
17	107/06/18~ 107/06/24	第 1 0 課 意見文 事実と意見 p 1 2 5	
18	107/06/25~ 107/07/01	期末考試週	
修課應 注意事項	文法事項をよく復習しておいてください。 教科書は必ず買ってください。 それは最低限の授業を受ける際のマナーです。 授業を 3 回以上無断欠席した場合は、学校の規則にのっとり、 落とします。注意しましょう。また、授業中、タブレットPC,携帯電話、パソコン等で 遊んでいる場合、警告をしても改善しない場合、他の学生の迷惑になるので、 教室から出て行ってもらいます。		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本	中級日本語学習者対象 小論文への12 のステップ 友松悦子著 大新書局		
參考書籍	繪説類語表現辭典1000 大新書局		
批改作業 篇數	6 篇（本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫）		
學期成績 計算方式	◆出席率： 10.0 % ◆平時評量：30.0 % ◆期中評量：30.0 % ◆期末評量：30.0 % ◆其他〈 〉： %		
備 考	「教學計畫表管理系統」網址：http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處 首頁〈網址：http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php〉業務連結「教師教學 計畫表上傳下載」進入。 ※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。		